

京地どり生産・流通推進協議会にて研究成果を講演

5月29日に京地どり生産・流通推進協議会総会が開催され、京地どり生産者、鶏肉流通業者、府関係者等20名が出席しました。

当センターからは、「鶏の安価なタンパク質飼料原料としての生酒粕利用の可能性」について研究成果を報告しました。この研究は、酒蔵から排出される酒粕を生のまま鶏用飼料として利用することで、高騰している飼料費の削減を目指す試験です。

生産者からは「酒粕給与による京地どりの肉質への影響はどうか。」「酒粕が手に入るようであれば実際に給与してみたい。」といった声があがり、活発な意見交換が行われました。

今後も、試験研究成果を広く周知し、生産現場での活用につなげていきます。



成果を発表する当センター研究員

畜産センター